

DAITO ROTARY

OSAKA JAPAN

CLUB WEEKLY BULLETIN

第2660地区

大東ロータリークラブ

- 事務所
〒574-0046 大東市赤井1丁目2-10
ポップタウン住道本館4階
TEL: 072-875-1200
FAX: 072-875-0590
E-mail: office@daito-rc.org
http://www.daito-rc.org/
- 例会
毎週火曜日 12時30分~1時30分
〒574-0076 大東市曙町4-6
大東市民会館 4階「大会議室」
TEL: 072-871-0001

◆4つのテスト◆

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか？
- ② みんなに公平か？
- ③ 好意と友情を深めるか？
- ④ みんなのためになるかどうか？



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

- Reach Within to Embrace Humanity -

創立 1967年12月26日

- 会長 大西 寛治
- 幹事 上田 正義
- 会報委員長 北本 良弘

2011年~2012年度
国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

平成23年11月15日

No. 2137

H23. 11. 8 (No. 2136の例会記録)

今週の卓話 (11月15日)

「床の間の話」

高田 眞吾 会員

ロータリーソング

移動例会により割愛されました

次週の予定 (11月29日)

「日本百名山」

田中 祥介 会員

ニコニコ箱

移動例会により割愛されました

先週の例会報告

◆ 出席報告 (11月8日分) 夜間例会

会員数 46名 出席数 28名 欠席者 9名
特定免除 9名 その他免除 0名
出席率 77.78%

前々回10月25日分

ホームクラブの出席者 28名 75.68%
メイクアップの結果 36名
特定免除 9名 その他免除 0名
欠席者 1名 修正出席率 **97.30%**



今日は場所と時間を変えての例会であります。夜の例会は数年前に情報集会の参加者が少なく、例会と情報集会を一緒にすれば情報集会の参加者が増えると見込み企画されました。年2回開催していましたが、ところが今は若い会員の参加が多く、飲酒運転追放で夜間例会の在り方も考える時ではないかと思えます。しかし、これは次期プログラム委員長の仕事です。

先週の例会で、タイの大洪水の義援金を皆様にお願ひしました。しかし、台風12号で隣の奈良県、和歌山県、三重県で大きな被害を受けました。にかかわらず、いまだに義援金の要請が来ないのは、どうした事でしょうか。

ロータリーの東日本震災復興基金についての記事が農協新聞に有りました。東日本大震災で被災した酪農家を支援しようと、宮城県丸森町の奉仕団体・丸森ロータリークラブは2日、義援金で購入の助成をした乳牛29頭を同町の酪農家に引き渡した。震災による停電で搾乳できず、乳房炎にかかるなどとして廃用となった乳牛の購入を支援し、酪農の復興に役建てる。同町は県内有数の酪農地帯。

同クラブは、震災で苦しむ酪農家を支援しようと、全国のロータリークラブを通じて集まった義援金をもとにした支援事業「東日本震災復興基金」に申請。申請が認められ、酪農家の牛導入にかかる費用を助成することになった。町内にいる県酪農協同組員29件に1頭ずつ、計29頭の導入費用、総額1000万円を助成した。

同クラブの菅野八郎会長は、「酪農経営の一日も早い復興に役立ててもらいたい」と語った。県酪農協の半澤善輝組合長は「酪農の基本は牛で、牛がいなければいくら頑張っても乳量の復活は難しい。クラブからの提案を受け、涙が出るくらいうれしかった。」酪農経営の復興に役建てる感謝の意を伝えた。たまたま見た記事に、地元ならではのロータリーの義援金による支援の方法が有ると思いました。

反面、残念な記事が読売新聞にありました。奉仕団体ライオンズクラブの近畿地区協議会の元議長が、東日本大震災の被災地のライオンズクラブから救援物資の購入費として送られた義援金1000万円を自分の口座に移したとして、大阪府警は6日、事務局、議長が経営する会社などを業務上横領容疑で捜索した。

今日もまた、実名入りで、三面記事に大きく取り扱われていました。内容は、救援物資の購入に際し、取引業者に架空の請求書を書かせる、購入代金の水増し請求で、1,000万の内460万を着服した事件でした。現議長は「情けない限り。支援活動に疑問を持たれかねない行為で申し訳ないと話した。

いよいよ大阪の未来を決める知事選挙が始まります。維新の会と反維新連合軍と共産党の三つ巴の戦いです。又我々大東市民には関係ないですが、大阪市の市長選挙も





同時にあります。こちらは共産党が平松現職の支持に回り互角の戦いになるでしょう。

明日9日はロータリー財団のGSEのスリランカチームの奈良ディーの受け入れです。11日、12日は2660地区の地区大会です。16日はゴルフコンペが名門鳴尾であります。18日は大東市の小、中学校の弁論大会が有り、20日にはインターアクトの年次大会が相愛高校であります。参加の程よろしくお願ひします。





「東日本震災への事業」

橋本 正幸 社会奉仕委員長

「東日本震災への事業」について報告を行いたいと思います。

5月18日に行われました、新年度社会奉仕委員長の地区会議では、東日本震災への奉仕活動について地区大会社会奉仕部会I・M3組の会議では、単独で検討するには規模が小さくなることから、奉仕活動の一本化が良いのではないかとの意見が集中しました。また、3組以外でも同様の意見が出されていました。



7月9日第一回クラブ委員長会議の社会奉仕委員長会議が行われ、タイムリーで且つ適切な支援を行うため、現地に行って被災地のロータリアンに会うことから始めようと、「東北にメイクアップに行こう」をテーマに取り組むことでした。また、IM3組での取り組みをガバナー補佐に伺ったところ、3組としての取り組みは考えていないということでした。

大東ロータリーといたしましては、東日本大震災に対する支援を国際奉仕委員長と協議し、地区からの要請もあることから宮城県の塩釜東RCにメイクアップに行き被害状況や支援できることを聞くことから始めるため、8月2日の理事会に諮り了承されました。

8月10日に宮城県塩釜東RCにメイクアップに行き、地震や津波による被害状況をロータリアンから聞き、支援に対する意見交換を行いました。

RCの例会も6月から再開され、やっと生活の基盤が戻る見込みができたという状況で、奉仕活動をするにはまだ考えておられませんでした。

塩釜東RCに援助することを考えていましたが、塩釜東RCが行う社会奉仕事業に対するサポートが良いのではと考えられます。

今後は、宮城県塩釜東RCと調整を行い、理事会に諮り支援について検討を行うこととしました。

9月6日の理事会において、大東RCの行った義援金の一部が返還されるアンケートが地区から寄せられたとの報告がありました。理事会で、返還された場合はその義援金を今回の支援に使用できることを承認されました。





その後の話し合いの中で、塩釜東RCが毎年社会奉仕事業として老人福祉施設「清楽苑」に伺い施設周りの草刈や老人との交流を行っています。その施設が地震により地盤が沈下し使用できない状況で、現在11月末の開所に向かって工事を行っています。その施設に車椅子やテーブル、洗濯機などを提供していただけないかということでした。

10月4日塩釜東RCを訪問し、今回の支援については、概ね100万円程度で検討していただきたいことを伝えました。その後、老人福祉施設「清楽苑」を訪問し、社会福祉法人千賀の浦福社会理事長瀧口家弘などに面談し、被害状況などを視察しました。施設は地震により地盤が沈下し上下水道が使用できなくなっていることや、施設の老朽化により崩壊の危険があることが分かりました。

10月17日老人福祉施設「清楽苑」に対して、車椅子10台、ヒーター2台、テーブル2台などを寄贈する約100万円の見積が送られてきました。

11月1日の理事会により100万円の支援金が承認されました。

11月5日 台湾RCとWCSの打ち合わせ

台湾 会長 前会長（デザイナー） ストーン モーター ゼブラ 5人

大東 国際奉仕委員長 国際交流平和委員長 社会奉仕委員長 3人

通訳をしていただいたストーンさんとの話の中で、今年度のWCSについて、大西会長と話し合い台湾が行うことになっていて大東から送金することが決っていた。

会議では、冒頭で義援金のお礼と支援に対する経過説明を行いました。

地区方針は、東北に行って現状を見て支援を検討しなさい。ということから、宮城県塩釜東RCとコンタクトを取って震災の現状を見ました。その中で、津波による被害だけでなく地震による被害に遭われている事を知りました。

WCSについて

宮城県塩釜東RCからの依頼により、老人福祉施設「清楽苑」に100万円相当の車椅子などを寄贈したいと考えています。つきましては、台湾とのWCSを利用して地区に支払う25万円を、義援金資金の一部充当するため、台湾から頂いた600万円の一部をWCSに充てたいと思っています。了承していただく。

11月末に開所式があるので、都合が付けば台湾から来ていただきたい。





雨飾山 : 標高 1963m

百名山 45/100

雨飾山（あまかざりやま）は、長野県北安曇郡小谷村と新潟県糸魚川市との県境にある、標高 1963.2m の山である。

山頂は 360 度の展望があり、二等三角点が設置されている。深田久彌によって日本百名山に選定された。長野県側からは小谷温泉から、新潟県側からは雨飾温泉から、それぞれ登山道がある。小谷温泉からの登路は荒菅沢奥壁となる「布団菱」を眺めながら比較的楽に登頂できるが、雨飾温泉側からは急登が続く薬師尾根を登らねばならない。



妙高山 : 標高 2452m

百名山 46/100

妙高山（みょうこうさん）は新潟県南西部の妙高市に位置する標高 2,454m の成層火山。日本百名山のひとつ。

馬蹄形をした爆発カルデラの外輪山と、中央火口丘となる最高峰の溶岩ドームから構成される火山。活火山のランク C に指定されている。

弥彦山と並び新潟県を代表する山であり、上信越高原国立公園に属する。越後富士（えちごふじ）の異名をもち、長野県との県境に近いためか長野県側からも北信五岳のひとつとして親しまれる。山麓には温泉が沸き、冬期ウィンタースポーツのリゾートエリアとしても知られる。

山名は、古くは「越の中山」（こしのなかやま）と呼ばれていたものが、好字二字令により「名香山」と当て字され、それが「みょうこうざん」と読まれるようになり、「妙高山」の字が宛てられたものである。

